

新年のごあいさつ

新年

都城市長

池田 宜永



新年明けましておめでとうございます。市民の皆様には、輝かしい希望に満ちた新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

私は、昨年の市長選挙において、市民の皆様のご信任をいただき、第3代都城市長に就任いたしました。これから4年間、ふるさと都城を市民一丸となって新しい都城に発展させ、次代を担う子どもやお孫さんたちに引き継いでいくとの強い思いを持って、全身全霊で市政に取り組み、市民の皆様笑顔があふれる「スマイルシティ都城」を実現していきたいと思いま

すので、ご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

昨年は、自然災害による人的被害もなく穏やかな1年でした。都城大丸跡地も、民間の受け皿会社が発立され、再生に向けて前進し、また、都城志布志道路も新たな区間の工事が始まるなど、大型事業が着々と進んだ年でもありました。

就任1年目の今年は、皆様にお約束したマニフェストの達成に向けて全力で取り組んでいきます。

新燃岳噴火や口蹄疫、鳥インフルエンザなどの災害に負けない安心安全なまちづくりをはじめ、基幹産業である農林畜産業を生かした6次産業化を推進するほか、地場産業の活性化支援や人創りのための教育支援、健康な体と豊かな心を育むスポーツ・文化活動支援、安心して暮らせる医療・福祉・子育て支援を行っていきます。さらに、次の世代に負担を強いることがないように、行財政改革を着実に実行するため、選択と集中を基本に市政を進め、南九州のリーディングシティとしてさらなる発展を目指していきます。

この1年が、市民の皆様にとりまして素晴らしい年となりますように心よりお祈り申し上げます、年頭のあいさついたします。

平成25年

謹賀

新年明けましておめでとうござ
います。

市民の皆様には、希望に満ちた
新春をお迎えのことと心からお喜
び申し上げます。

また、平素から市議会の活動に
対して、温かいご支援とご協力を
賜り、厚くお礼申し上げます。

議長職を預かり、間もなく1
年が経過しようとしています。こ
の間、市議会では、市政の重要課
題の解決に向け、さまざまな視点
から活発な議論を行い、より一層
の市政の発展と市民の皆様の福祉
の向上に最善を尽くしてきました。

都城市議会議長

榑田

勉

さて、日本の経済を取り巻く環
境は、ますます厳しさを増してき
ており、昨年末の国政選挙におい
ても、雇用や社会保障の基盤とな
る経済構造の変革を期待する多く
の国民の関心が寄せられました。
一方、本市においては、一昨年
の年明け早々、都城大丸の閉店が
報道されましたが、地元民間の力
を結集し、再興を目指す動きも具
体化してきています。新しい活性
化の形として大いに期待してい
るところです。

第3代の市長が昨年11月に誕生
しました。南九州のリーディング
シティを目指す本市にあって、都
城広域定住自立圏や環霧島会議と
いった県境を越えた取り組みが加
速されるものと確信しています。

議会としても、開かれた議
会の実現を目指して今まさに、そ
の基本となる市議会基本条例の制
定に向けたパブリックコメントを
行っています。市民の皆様から多
くのご意見を頂き、よりよい条例
にできればと期待しています。よ
り一層のご支援、ご協力を賜りま
すようお願い申し上げます。

皆様にとりまして、本年が幸多
く、実りある飛躍の年であります
ように心からご祈念申し上げます
で、新年のあいさついたします。

池田市政がスタート

市民の笑顔あふれる「スマイルシティ都城」の実現に向けて

市長プロフィール

- 昭和46年4月7日生(41歳)
- 平成2年3月
県立都城泉ヶ丘高等学校卒業
- 平成6年3月
九州大学経済学部経済学科卒業
- 平成6年4月 大蔵省入省
- 平成11年3月
東京大学大学院経済学研究科修士課程修了
- 平成11年7月
大蔵省主税局調査課内国調査第2係長
- 平成14年7月
金融庁監督局銀行第1課課長補佐
- 平成17年4月
外務省在オーストラリア日本国大使館
1等書記官
- 平成19年4月 都城市副市長(総括担当)
- 平成22年7月
財務省主計局主査(農林水産第2係)
- 平成24年11月 第3代都城市長就任

- ◆趣味 スポーツ(野球・テニス・ゴルフ)
- ◆座右の銘 一期一会、実るほど頭を垂れる稲穂かな
- ◆家族構成 妻と長男、長女の4人暮らし

第3代都城市長

た か ひ さ

池田 宜永



このたびの市長選挙におきまして、市民の皆様のご信任をいただき、第3代の都城市長として市政をお預かりすることになりました。市民の皆様からのご負託を受け、あらためて身の引き締まる思いです。

これまでの財務省職員時代の経験・人脈を最大限に活用し、必要な施策は力強く推進しながら、メリハリのある市政運営に努め、市民の皆様のご期待に応えるよう、全身全霊で市政のさらなる進化・発展に尽力してまいります。

◎市政のさらなる進化・発展

これまでの市政を進化・発展させていくことが大事であると考えています。

市郡医師会病院、救急医療センターおよび健康サービスセンターを平成26年度までに開院させ、医療や福祉のさらなる充実を図るとともに、都城インター工業団地の整備を進めて新たな雇用創出を図るなど、本市の中長期的な発展に資する主要施策として、しっかりと進めていきます。

また、都城志布志道路の早期全線開通のほか、都城広域定住自立圏構想や環霧島会議などの広域行政の推進を図っていきます。

◎まちづくりの推進

新都城市が誕生して7年が経過しました。少子高齢化が急速に進行するなか、旧4町の活性化をどう図っていくかが重要な課題であり、それぞれに一定の財源を移譲するなどして、まちづくりを推進していきます。

また、6次産業化の推進や旧市の中山間地域も含めた農林畜産業の振興計画の実施など、さまざまな施策を推進して都城全体の経済発展を図っていきます。

◎マニフェストの実行

子どもから高齢者まで、全ての市民の皆様の笑顔があふれる「スマイルシティ都城」を創り上げていくために、7つのマニフェストを実行していきます。市民の皆様にお約束したマニフェストを市政の中に明確に位置付けるために、都城市総合計画の重点施策として実施していきます。

① 安心安全なまちづくり

新燃岳噴火
や口蹄疫、鳥
インフルエン
ザなどの災害
に常に危機感
を持って万全
の備えを行い、



都城志布志道路
五十町 IC

市民の生命や財産を守ります。また、巨大地震の発生時には、都城市が県の防災拠点になるので、都城志布志道路の早期全線開通や宮崎自動車道山之口サービスエリアのスマートインターチェンジの整備促進などに取り組みます。

② 農林畜産業の支援

基幹産業である農林畜産業を生かした6次産業化を進めて、経済発展を図ります。また、5年後の全国和牛能力共進会で日本一を獲得して、文字通り生産量・品質ともに日本一の生産地を目指します。

③ 地場産業の支援

中心市街地の活性化に向けた民間の取り組みを支援して人の流れを創出し、新規店舗の参入も促進していきます。また、都城インター工業団地の整備も着実に進めていきます。さらに、新燃岳噴火や口蹄疫により落ち込んでいる観光を浮揚させるため、スポーツや文化活動の合宿誘致にも力を入れていきます。

④ 「人創り」のための教育支援

世界に羽ばたく人材を育成するには、基礎学力の向上はもちろんですが、英語教育の充実を図ることも必要です。また、都城を愛する子どもたちを育てるため、地域の祭りや行事に参加する郷土教

育・地域教育や、論語の学習などの道徳教育を推進します。

⑤ スポーツ・文化活動支援

中長期的な視点に立つて、スポーツや文化活動支援のための施設整備などに取り組みます。また、市立図書館や小・中学校図書館の充実を図り、本に親しむことができる環境をつくっていきます。

⑥ 医療・福祉・子育て支援

市郡医師会病院などを平成26年度末までに開院させ、医療や福祉のさらなる充実を図ります。子育て世代に対し、引き続き妊婦健診の補助や乳幼児医療費助成などを行っていきます。

⑦ 行財政改革

市民サービスの維持・向上を図りながら、事務事業の見直しや民間委託を推進するとともに、市職員を5年間で140人削減します。また、子どもたちやお孫さんたちにツケを回さないよう、効率的な予算編成システムを確立し、健全な財政運営を行っていきます。

最後に、子どもから高齢者まで、全ての市民の皆様が笑顔があふれる「スマイルシティ都城」を実現していくため、市民の皆様のご協力を心からお願ひ申し上げます。就任のあいさついたします。